

平成 28 年度 事業報告書
(平成 28 年 9 月から平成 29 年 8 月まで)

特定非営利活動法人 亘理いちごっこ

1. 事業概要

平成 28 年度は①コミュニティ・レストラン事業（サロン活動、製造を含む）、②子どもサポート事業の 2 事業を柱に活動を展開してきました。

震災から 6 年半の月日が経ち、新たなコミュニティを作り、前を向いて進んでいる方も多くいらっしゃいますが、その一方でご病気になられる方や、お亡くなりになる方なども多くお見受けするようになりました。震災当時、乳幼児だった子ども達が小学校へ入学し、落ち着いて勉強に取り組むことが難しい子どももみられます。また、当時中・高生だった子ども達が親となり、子育てに奮闘する中、震災当時のことがフラッシュバックしてしまうという現実もあります。困難や課題は形を変えて今後もまだ続いていくのだということを考えさせられた一年でもありました。

いちごっこらしく、地域の方々の暮らしを「食」と「つながり」を通して支えたいという思いから、コミュニティ・レストラン事業では①コミュニティ・レストラン「散歩道」の継続運営、②亘理の特産品を生かした製品づくり、③移動型サロンやワークショップに取り組んできました。「散歩道」の利用者の方からは「手作りの味は食べていて飽きない。」「高齢で食事作りが億劫になってきたので、手作りのお弁当宅配はありがたい。」などの声をいただきました。イベント等の参加者の方からは「食事会を楽しみにしている。バランスの良い食事ができて嬉しい。」「仮設から公営住宅に移動して、近所づきあいが減ってしまったので、集うことができて嬉しい。」「プロの音楽と絵からパワーをもらった。」という声をいただきました。

子どもサポート事業では昨年度に続き、専門のスタッフを配置することができ、東北大学サークルいちごっこの学生達からのサポートもあり、順調に活動を展開することができました。6 年間の継続活動の中で、小学生、中学生とも家庭環境や基礎学力に課題を抱える子どもや保護者の間に口コミで寺子屋事業のことが伝わり、小学生 11 名、中学生 17 名が通っています。

詳細は次ページ以降に事業ごとにまとめております。2 事業以外には昨年地域住民が立ち上げた「手作りサークル」や「ヨガサークル」の活動を継続支援することができました。

次年度はいちごっこ設立当初からの「大きな家族」をより意識し、「子ども」と「子どもを支える大人」の両者が豊かに地域で暮らすことができるよう、事業を継続展開していきます。今年度も町内・町外の多くのボランティアの方々に支えていただきましたことに深く感謝を申し上げ、今後も地域の方々に必要とされるサービスを提供できるよう努めてまいりたいと思います。

2. コミュニティレストラン事業

立ち上げ当初より「食」を通して集い、人と人とのつながりを大切にしてきた。地域の中での関係性を作るだけではなく、地域外の方達との交友も大きな柱となっている。【地域コミュニティは大きな家族】を目指す当法人にとって、この事業は根幹事業となっている。

主立った活動を次に挙げる。

(1) レストラン事業

①温かなバランスの取れた安心安全な食を摂ることは、人の健康な心身を形成していくにあたって欠かせないものである。管理栄養士による低カロリー・低塩分メニューを日替わりで、スタッフが心を込めて一つずつ手作りで毎日提供した。当施設での食事に加え、事業所、高齢者や産前産後のお母さんなどへの定期的なお弁当提供が徐々に増えてきている。復興住宅や子供会などの集まりにも利用していただくようになった。

②高校生などの実習受け入れも4年目となった。今年度は亘理高校のインターンシップ体験を行った。レストラン業務、製造作業所でのお菓子作りの他、復興住宅での「おらほの食卓」で住民の方々のために食事の準備をし、交流するというプログラムを行った。

受け入れ日	実施内容	受け入れ人数
2017年7月20日	説明会	亘理高校生7名
2017年7月24日～26日	レストラン業務・製菓・復興住宅食事会補助	亘理高校生2名
2017年7月31日～8月2日	レストラン業務・製菓	亘理高校生2名
2017年8月7日～9日	レストラン業務・製菓	亘理高校生3名

③地域の特産品を生かした製品作りに取り組んだ。昨年度から継続して「イチゴジャム」「アイスクリーム」「クラッシュいちご」作りを行い、今年度新たに、亘理・山元商工会と協力し、「いちじくのコンポート」「りんごのコンポート」の製品開発を行った。

イベント名	実施日	場所	内容
県南浜街道ワークショップ	9/14	岩沼市民センター	仙南事業者
大食欲祭り	9/22	勾当台公園	はらこめし、アイス販売
県庁ロビー販売	9/30	宮城県庁ロビー	はらこめし販売
やまもと地域交流まつり	10/1	山元町体育館	はらこめし販売
仙台駅前物産展	10/4～6	仙台駅中央コンコース	はらこめし等販売
宮城まるごとフェスティバル	10/15～16	勾当台公園	はらこめし販売
ロイヤルパーク、キンピアポート	10/19	各店舗	商品紹介
亘理商人まつり	10/23	亘理町商店街	はらこめし等販売
J Aまつり	11/12	J A吉田選果場	はらこめし販売
亘理復興マラソン	11/13	佐藤製線グラウンド	はらこめし等販売
県庁ロビー販売	11/17～18	宮城県庁ロビー	はらこめし販売
神戸秋の手づくり市	11/19～20	神戸	「支援をご縁に救援隊」支援事業
山元ふれあい産業まつり	11/20	山元町役場敷地	はらこめし販売
J Aふれあいセンター	11/23	J Aふれあいセンター	はらこめし販売
亘理山元商工会総会	4/21	悠里館視聴覚室	
商工会事業指導	5/26, 30	当法人施設	
亘理山元商工会モノづくりプロジェクト	7/4	当法人施設	

亘理山元ブランドプロジェクト会議	7/5	悠里館視聴覚室	
亘理山元商工会研修	7/20	当法人施設	講師：田中のり子氏

(2) サロン活動等

①アートキッチン

地域住民が講師となって季節に応じた「アート」と「キッチン（調理）」を楽しむ講座を隔月で開催した。臨床美術の手法により絵画・造形活動を行うグループと、調理のグループに分かれ、1時間半の活動を楽しみ、最後はキッチングループが作ったお菓子を食べながら、アートグループの作品を鑑賞する時間を楽しんだ。参加者は幼児から高齢の方まで幅広く、笑顔あふれる活動となった。

実施日	テーマ	活動内容	参加人数
2017年2月18日	りんご	アート：絵画（アクリル絵の具） キッチン：カスタードアップルパイ	32名
2017年3月18日	桜	アート：絵画（水彩画） キッチン：桜餅	35名
2017年5月27日	紫陽花	アート：絵画と貼り絵 キッチン：紫陽花ゼリー	22名
2017年7月1日	すいか	アート：暑中見舞い用はがき キッチン：すいかクッキー	42名

②ヨガサロン

菅野葉子氏を講師にお招きし、月に1度心と体を癒すヨガを行ってきた。ヨガで体をリフレッシュさせた後は、みんなでお茶を飲みながらの団らん。今までの思い、これからの不安などを語り合う場ともなり、心のリフレッシュともなっている。

実施場所	実施日	参加人数（延べ）
つばめの杜集会所	2016年：9/26, 10/24, 11/22, 12/29 2017年： 1/23, 2/27, 3/27, 4, 24, 5/22, 6/26, 7/24, 8/28	87名
浜吉田北公会堂	2016年：10/27, 11/27 2017年：2/23, 3/23, 4/27, 6/22, 7/27, 8/24	136名
上浜復興住宅集会所	2017年：2/8, 3/9, 4/13, 5/11, 6/8, 7/13	60名

③楽らく茶のみ

2017年5月より、亘理町復興住宅西木倉集会所、大谷地集会所にて月に2～3回のサロンを開催。地元の方がボランティアスタッフとして企画・運営に携わって下さり、活気あるお茶のみ絵画行われている。

実施場所	実施日	参加人数（延べ）
大谷地復興住宅集会所	2017年5/9, 5/23, 6/13, 6/27, 7/11, 7/25	37名
箱根田東集会所	2017年5/12, 6/9, 6/27, 7/14	64名

④おらほの食卓

復興庁【心の復興】補助事業を受け、移動型の食事サロンを実施。食事を通して、被災住民の語り合う場を創ることと、復興住宅住民と近隣の非被災住民との交流を目的とした上浜復興住宅での夕食サロンは定例化した。月に一度でもお喋りしながら誰かと食事をとることが出来て嬉しいという声をいただいている。こどもからお年寄りまで老若男女が集まっている。

実施場所	実施日	参加人数 (延べ)
大谷地復興住宅集会所	2016 年 9/6, 10/11	10 名
逢隈地区・早川集会所	2016 年 9/15	5 名
上浜復興住宅集会所	2016 年 8/23, 9/20, 10/25, 11/22, 12/13 2017 年 1/17, 2/28, 3/28, 4/25, 5/30, 6/27, 7/25, 8/29	289 名
当法人施設	2016 年 9/14, 9/28, 10/12, 10/26, 11/9, 11/30, 12/7, 12/21 2017 年 1/11, 1/25, 2/8, 2/22, 3/8, 4/20, 4/25, 5/11, 5/26, 6/8, 6, 23	32 名

⑤手作りサロン

実施場所	実施日	参加人数 (延べ)
上浜復興住宅集会所	2016 年 9/7, 10/5, 19, 11/2, 16, 12/14 2017 年 1/18, 2/1, 2/15, 3/1, 3/15, 4/5, 4/19, 5/10, 5/24, 6/7, 6/21, 7/5, 7/19, 8/	196 名

⑥アートイベント

生の音楽や絵に触れ、心が癒されたり、豊かになったりすることを願い、アートイベントを実施。参加者からは「遠くに出かけず、地元で芸術を楽しむことができて嬉しかった。」などの声をいただいている。

イベント名	実施場所	実施日	参加人数
Love Live	当法人施設	2016 年 10 月 8 日	15 名
オカリナ&マリンバコンサート	上浜復興住宅集会所	2017 年 7 月 1 日	46 名
YUKADOライブペインティング	見晴 山元町工房地球村 山元町公民館	2017 年 8 月 3 日 8 月 4 日	30 名 43 名 50 名

⑦そば打ちサロン

講師を招き、地域住民が主体となってそば打ちサロンを行った。「そばを作ることは初めてだったが、また作ってみたい。」「地域の人と一緒にそばを打つことができて楽しかった。」などの声

があがった。

実施場所	実施日	参加人数
西木倉復興住宅集会所	2016 年 9 月 21 日	6 名
一本松集会所	2016 年 11 月 14 日	13 名
大谷地復興住宅集会所	2017 年 6 月 8 日	10 名

⑧腹話術サロン

実施場所	実施日	参加人数
大谷地復興住宅集会所 上浜復興住宅集会所	2016 年 10 月 29 日	38 名
上浜復興住宅集会所	2017 年 4 月 15 日	28 名

⑨さをり織教室

当法人施設において、月 1～2 回、藤沢律子氏によるさをり織教室を開催。集中して作品作りに取り組む方や、お喋りを楽しみながら取り組む方など、それぞれの楽しみ方をみつけアットホームな教室となっている。

実施場所	実施日	参加人数（延べ）
当法人施設	2016 年 9/10, 9/24, 10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10 2017 年 1/14, 2/25, 3/11, 5/13, 6/10, 7/8	52 名

⑩その他のサロン

イベント名	実施場所	実施日	参加人数
手作り餃子サロン	当法人施設	2016 年 11 月 22 日	5 名
西木倉 Xmas サロン	西木倉復興住宅集会所	2016 年 12 月 22 日	20 名
韓国語講座	当法人施設	2017 年 1 月 6 日	5 名
藍の生葉染 ※宇都宮いちごの会	上浜復興住宅集会所	2017 年 8 月 2 日	32 名
木工教室	当法人施設	2017 年 8 月 19 日	
包丁研ぎ	当法人施設	2017 年 6 月 10 日	12 名
亙理ばばママサロン ベビーマッサージ	上浜復興住宅集会所	2017 年 8 月 29 日	25 名

⑪町内会交流スペースとしての役割

2015 年度より南町北区地域指定避難所となり、活用されている。地域の交流活動の場として活用いただいている。

活動内容	実施日	参加人数
南町北区芋煮会	2016 年 10 月 30 日	100 名
地域防災訓練	2017 年 6 月 11 日	250 名
南町北区夏まつり	2017 年 7 月 29 日	250 名

⑫中高大学生及び社会人のための被災地研修拠点

学校、団体単位での被災地研修の取り組みのつなぎ手として活動を行ってきた。「被災地への支援」という視点だけでなく、「自分たちの地域で今後どのようなことをしていくことができるかを学ぶ体験としてほしい。」と伝えてきた。複数年継続した研修として訪れてくれる学校も多く、今後も継続していきたいというお声をいただいている。

受け入れ団体名	受け入れ日	受け入れ人数	備考
宇都宮カトリック女性部	2016 年 10 月 5 日		上浜、野地、西木倉にて お茶のみサロン実施 参加者 40 名
山形市南沼原コミュニティセンター	2016 年 10 月 31 日	13 名	講話＋意見交換
福岡工業大学付属城東高等学校	2016 年 12 月 23－24 日		講話 復興住宅お茶のみサロン (40 名)
JICA アジア研修生	2017 年 2 月 24 日	13 名	講話＋被災地ツアー
地域共生創造財団	2017 年 6 月 5 日	5 名	熊本被災者支援について
宇都宮海星学園	2017 年 7 月 17 日		お茶のみサロン実施 参加者 70 名
浦和明の星高等学校	2017 年 8 月 7－9 日	8 名	
宇都宮大学	2017 年 8 月 23－25 日		講話
藤女子大学	2017 年 8 月 25－28 日	学生 3 名、 教員 1 名	講話
カリタス学園	2017 年 8 月 25 日	教員 15 名	講話

⑬亙理ホームカミングデー

2016 年 12 月 24 日に①亙理町住民、②震災で亙理を離れざるを得なかった方、③ボランティアとして町外から支えて下さった方の交流の場として第 11 回亙理ホームカミングデーを開催した。町内、近隣市町村はもとより、福岡県、岡山県、兵庫県、東京都など県外からも多数の参加をいただき温かい交流を持つことができた。参加者は 250 名を超え、盛会であった。

(3) 互理こどもサポート事業

主とする事業として学習会「寺子屋いちごっこ」を継続して実施した。会期中 136 回開催し、約 30 名の小・中学生が常時通った。学校の授業進度に合わせた学習による基礎学力・学習習慣の定着・向上を目指した。それとともに、当スタッフや大学生スタッフ、異なる学校・学年の児童・生徒ら同士との交流を通して心の成長を見守り、そして心の拠りどころとなることを目指した。定期的な学習会のほかに節目の時期に交流会・イベントを 5 回開催。小・中学生及び大学生スタッフが一同に会し、レクリエーションや食事を通して交流を深めた。

夏休みを利用し、5 回目となる「ポニーキャンプ」を開催。過去最多となる 17 名の児童・生徒らが参加した。また、集会所を使用し、勉強会と交流会を合わせた「通い de スタプレ合宿」を 4 日間実施。のべ 60 名の小学生～高校生が参加した。

また助成を受け、互理町内の児童・生徒らの状況を町や学校からヒアリングや他地域で活動する団体を視察し、情報共有をすることができた。心のサポートも含めた学習支援の場所の重要性を改めて再確認する

① 学習会「寺子屋いちごっこ」

当寺子屋には被災世帯・ひとり親世帯など経済的な事情のある家庭の割合が 5 割を超えているほか、学校の授業進度についていけなかったり、心のサポートが必要だったりといった、何かしらの事情を抱えている児童・生徒らも通っている。当寺子屋では、基礎学力の定着とともに、児童・生徒らの心のよりどころとなることを目指し、一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしながら学習を進めてきた。当寺子屋が前述したような児童・生徒らの受け皿として、少しずつ認知されつつある。

2017 年 3 月までは週 3 回小学生は算数を、中学生は曜日ごとに主要科目を定め、学習を進めた。また、小学生では週に 1 回、時間の後半 10 分程度を”遊びながら学ぶ”時間と定め、百人一首や都道府県パズルなどによる学習も行った。

2017 年 4 月からは受け入れ人数を増やすため、週 3 回から週 2 回の 2 グループ制に変更した。児童・生徒らの学年があがり、3 月より継続して通う児童・生徒らと新たに通い出した児童・生徒らが加わり、受講生数は微増となっている。小・中学生ともに主要科目を定め、曜日で分けて実施した。新しい取り組みとして中学生の部の 2 タームのうち 1 タームを講義形式にて学校の進捗状況に合わせて強化科目を進めている。

2017 年 1 月から指導力の向上や児童・生徒らとのよりよいコミュニケーションのとりかたを教えていただくため、一般社団法人まなびの森坂本氏に講師として現場に入ってもらった。

(小学生の部)

3 月までのところでは算数をメインの科目に、学校の授業進度に合わせて進めた。それに加え、各自学校の課題やこちらで準備したプリント・問題を進めながら苦手な科目・分野を中心に進めた。また、毎週水曜日は”遊びながらの学習”を取り入れ、百人一首や地図パズルなどでの学習も行う。

4 月からは、読解力・語彙力の豊かさを育むために国語と、計算力や数学的思考を育むこと、そして苦手意識をなくすために算数を主要科目として定め、それぞれ曜日ごとに実施。その他に、プリントを用いた学習や思考力や発想力を豊かにする学習も取り入れている。その結果、文章題や国語等ができなかった児童・生徒らがだんだんとできるようになり、満点のテストを持ってくることも多くなった。

学習態度や意欲については、学年があがったことや、スタッフからの声かけなどさまざまなこと

が起因し、落ち着いて学習に励む光景が多くなったように思う。日によってモチベーションの差が激しい子どももいるが、大学生スタッフの密な対応により、一定の意欲は保ち続けられていると感じる。

(中学生の部)

3月までは週3回で曜日ごとに英語・数学・理社を主要科目と置き学習を進めた。子どもにより、好き嫌いや得意不得意により、科目ごとの勉強時間に差異が生じるため、必ずその科目に取り組む時間を設け、科目ごとの勉強時間の差異を少なくすることを目指した。年末年始には中学3年生へ向けて、受験前の集中講座を実施した。その甲斐あってか、この年の中学3年生は全員志望校へ合格した。

4月からは週3回から週2回になり、英語と数学を主要科目として定め学習を進めた。2タームあるうちの1タームを、主要科目を講義形式にて、学校での学習進度にそって進める。児童・生徒らの学習進度に開きがあるため、課題の難易度や問題量を変えることで個々の学力に合わせて進めている。もう1タームでは学校での課題や、理解できなかった部分の補完の時間とし、個々人で学習を進めたり、スタッフにわからない部分を聞いたりしながら学習を進めていた。講義を取り入れたことにより、学習時間にメリハリがついたこと、受講生全員に一定の学習内容が確保されたこと、それにより「どこまで理解できて、どこからが理解できていないのか」がより明確になったことなどのメリットがあった。

【実施曜日】

(～'17年3月31日)毎週月・水・金、('17年4月1日～)毎週月・火・木・金

		月	火	水	木	金
～'17年3月 ('17.3.31 時点)	小学生	算数		算数		算数
	中学生	英語		数学		理/社
'17年4月～ ('17.8.31 時点)	小学生	国語	国語		算数	算数
	中学生	英語	英語		数学	数学

(科目は主要科目、こどもに合わせ他教科も実施)

【実施時間】

小学生 18:00～18:50、中学生 19:00～20:50

【実施回数】

～'17年3月 ('17.3.31 時点)	合計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	71	12	11	13	9	9	12	5
'17年4月～ ('17.8.31 時点)	合計	4月	5月	6月	7月	8月		
	65	12	16	18	12	7		

【人数の内訳】

小学生(単位：名)	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
～'17年3月 ('17.3.31 時点)	9	-	-	1	2	5	1
'17年4月～ ('17.8.31 時点)	11	1	-	-	2	3	5

中学生(単位：名)	合計	1 年	2 年	3 年
～'17 年 3 月 (17.3.31 時点)	15	5	6	4
'17 年 4 月～ (17.8.31 時点)	17	7	4	6

【世帯内訳】

世帯内訳(単位：世帯／名)	合計	一般	被災	ひとり親	特例
～'17 年 3 月(17.3.31 時点)	21／24	9／12	4／4	7／7	1／1
'17 年 4 月～(17.8.31 時点)	24／28	9／10	7／9	6／7	2／2

【会費内訳】

会費内訳(単位：円)		一般	被災	ひとり親	特例
～'17 年 3 月 (17.3.31 時点)	小学生	6000	5000	5000	2000
	中学生				
'17 年 4 月～ (17.8.31 時点)	小学生	5500	4500	4500	2000
	中学生	6500	5500	5500	2000

② 東北大学学内サークル「サークルいちごっこ」

寺子屋いちごっこにおける子どもサポートを行っていきこうと 2012 年 4 月に結成された東北大学学内サークル「サークルいちごっこ」。5 年目を迎え、現在も 50 名を超える学生が交代で日々の当寺子屋に訪れ、児童・生徒らの学習面や精神的なサポートをしてくれている。それだけに留まらず、学生一人ひとりが児童・生徒らのロールモデルとしての役割も果たし、将来の進路選択の幅をも広げる役割を果たしている。

③ イベント等

➤ 合宿・お泊まり会

3 月 25～27 日の 3 日間、亘理町内にて中学生春季勉強合宿を開催。学年末の復習と次学年の先取りの学習を行った。また、3 月 30～31 日の 1 泊 2 日にて小学生お泊まり会を実施。英語を取り入れたプログラムなどを通して交流を深めた。

➤ 地域交流イベント

下記の日程にて 5 回実施した。レクリエーションや食事をともしながら、日頃の学習の場では見せないような顔を見せてくれた。10 月に実施した「ハロウィンパーティ」では地域の方にも協力していただき、家々を巡りお菓子をもらうことで、ハロウィンの雰囲気味わうとともに、地域の方との交流の場となった。同月に実施した「学園祭に行こう」は、日頃関わってくれている大学生スタッフの大学生活を味わってもらうことで、将来の進路選択の幅を広げることを目的として行った。結果、「大学に行きたい」と思う子どもも出てきている。3 月に実施した、「みんなみんなありがとうの会」では、当寺子屋を卒業した児童・生徒らも参加して来てくれ、新旧の寺子屋生が集う場となった。

日程	イベント名
2016 年 10 月 21 日	ハロウィンパーティ
2016 年 10 月 29 日	大学祭へ行こう
2016 年 12 月 21 日	クリスマスパーティ
2017 年 3 月 31 日	みんなみんなありがとうの会
2017 年 6 月 10 日	Welcome Party!

④ 食事会「いちごっこおらほの食卓」の実施

2016 年 9 月より、隔週にて「いちごっこおらほの食卓」を実施。当施設にて、地域のおとなとこどもとの地域交流と経済的事情により、満足な食事をたべることができなかつたり、保護者の仕事により孤食になりがちになったりする児童・生徒らへの食事を通した日常生活の経験を積んでもらうことを目的とした。当寺子屋に通う児童・生徒らを中心として毎回 10 名程度の利用があり、交流のみならず、食事の準備・片付けを通した社会性を育む場としての側面があることも垣間見られた。しかし、当初目的としていた児童・生徒らへの周知不足等の課題もあり、2017 年 4 月ごろより利用者が減少し、現在は休止の状態にある。

⑤ 高校受験対策「土曜塾」の実施

「寺子屋いちごっこ」では日々の学校進度に合わせた学習に重きを置いているため、”受験のための勉強”はできないでいた。そこで 2017 年 7 月より、毎週土曜日に中学 3 年生を対象として、高校受験対策「土曜塾」をスタート。模試や過去問などを中心に解き進め、実践力と受験に必要な学力を伸ばし、志望校合格へのサポートを行っている。

⑥ 寺子屋外の活動

➤ 「低所得家庭の児童・生徒らのための学習支援コーディネーター養成講座」の受講

NPO 法人キッズドアが主催する、「低所得家庭の児童・生徒らのための学習支援コーディネーター養成講座」の 1 期生として受講。子どもの貧困や学習障害についての知見を深め、児童・生徒らとの接し方や動機付けの方法などを学び、貴講座の全過程を修了した。

➤ ポニーキャンプ

今期で 5 度目となる「ポニーキャンプ in 亘理」を 7 月 22～24 日の 3 日間、ハーモニセンターの協力のもと開催した。過去最多となる小学生 17 名が参加し、ポニーのお世話や乗馬体験などを通じて、自然・動物・ともだちへの思いやりや道徳心を育む機会となった。

➤ スタプレ合宿

夏季休暇を利用し、8 月 21～24 日の 4 日間、町内の集会所にて学習会と交流会を合わせた「通い de スタプレ合宿」を実施した。県外の大学生の被災地研修も兼ねたこのイベントには町内の小学生～高校生のべ 60 名が参加し、夏休みの宿題や、個々の課題をこなしたり、またレクリエーションなどを通して日頃会う機会のない大学生と交流を楽しんだりという会になった。参加した児童・生徒らの中には「日中保護者が仕事のため、歩いていける範囲にしか出歩けない」といった声もあり、児童・生徒らが”自力で行ける範囲”にて同様の場の必要性を感じた。また、「勉強ばかりで気が詰まるが、遊んでいる姿を見ることでリフレッシュできる」といった声もあり、勉強だけでなく、遊ぶことも必要な要素であるということを実感できた。

(4) 地域との協力・共同について

震災後、「これが必要。」「こんなことに困っている。」と聞こえてくる声に、応えられるだけ応えようと無我夢中で活動してきたが、今一度「地域の現在の課題は何か」「町が必要としていることは何か」を整理し、いちごっこに出来ること、いちごっこがすべきことは何か、地域との連携をどう進めるかを考えるためにヒアリング活動を行った。

面談先	実施日	内容
亘理町被災者支援課	2016 年 9 月 2 日	現状に関するヒアリング
亘理町生活支援協議体	2016 年 9 月 29 日 2017 年 7 月 21 日	ミーティングに出席
亘理町立亘理小学校	2016 年 12 月 1 日	現状に関するヒアリング
亘理町教育委員会	2016 年 12 月 20 日 2017 年 2 月 23 日	現状に関するヒアリング
亘理町教育長	2016 年 12 月 20 日 2017 年 5 月 30 日	現状に関するヒアリング
東北復興局	2017 年 1 月 12 日	ヒアリング
亘理町立逢隈中学校	2017 年 2 月 21 日	現状に関するヒアリング
宮城県教育課・社会福祉課	2017 年 4 月 13 日	貧困と教育に関するヒアリング
亘理町こども未来課	2017 年 4/24, 5/25	現状に関するヒアリング等
南城東区	2017 年 6 月 13 日	区長打ち合わせに出席
吉田地区センター	2017 年 6 月 13 日	所長との打ち合わせ
宮城県肢体不自由児者協会	2017 年 6 月 20 日	意見交換
NPO法人アシスト・エフワン	2017 年 7 月 20 日	亘理ぱばママサロンについて